

09年12月議会 適正な競争のおこなわれていない請負契約の締結に反対し再入札を求める討論

09年12月15日

日本共産党 藤木くにあき

日本共産党の藤木くにあきでございます。

私は、議案第195号 リサイクルプラザ太陽光発電設備設置工事請負契約の締結 に反対の討論をおこないます。

私は、クリーンエネルギーを生み出す、太陽光発電設備設置については、地球温暖化をくいとめるうえで、極めて有効なものであり、積極的に推進すべきだと考えています。

したがって、私が、今回の請負契約の締結に反対するのは、太陽光発電に反対だからでは決してありません。

問題は、今回の工事にあたり、おこなわれた、入札結果が、「適正な競争がおこなわれてない、事実上の談合によるものだと言われても仕方のない状況にある」からです。

今回の入札は、条件付一般競争入札でおこなわれていますが、落札率は99.6%で、消費税抜きの工事費は2億2,850万円です。そこで、他の入札参加業者の入札額を見ると、次点が、長岡鉄工建設株式会社で、入札率は99.7%、入札額は2億2,875万円です。3位は2社あり、株式会社玉川工務店、宮田建設株式会社で、入札率は99.8%、入札額は2億2,900万円です。

この入札率が異常に高いものであるかは、この前後におこなわれた他の入札結果を見れば一目瞭然です。

例えば、12月3日入札の16件の工事の消費税抜きの工事費は、3,520万円から117万6千円の低い工事費のものばかりですが、条件付一般競争入札でおこなわれ、小林建設株式会社が受注した、3,520万円の鮎の里宿泊棟増改築工事の落札率99.4%を除くと、平均落札率は91.4%です。鮎の里宿泊棟増改築工事ともう1件以外は、すべて指名競争入札です。

また、12月10日入札の7件の工事は、消費税抜きで2,300万円から125万円のこれまた低い工事費のものばかりですが、2,300万円の災害復旧工事の落札率96.5%を除くと、平均落札率は95.1%です。2件を除いて指名競争入札です。

2億2千万円を超える儲けの多い工事の落札率が99.6%で、儲けの少ない700万円から125万円の工事の平均落札率が91.4%、または95.1%で低い。常識的に考えれば、これが、適正な競争の結果とは、とても言えないのではないのでしょうか。

本来、一般競争入札は、指名競争入札と比較して、より適切な競争がおこなわれる入札方法です。しかし、事実上の談合がおこなわれている場合は、まったく逆の結果を招くことは、周知のとおりです。

最近の条件付一般競争入札でみると、数社が入札に応募しながら、入札当日辞退し、事実上1社のみで入札がおこなわれ、落札率が、100%あるいは、99.7%というものが続発していました。

例えば、11月6日入札の、旧三坂小学校を道後山高原合宿センターとして宿泊施設に改修する工事では、3社が辞退し、事実上1社だけの入札で、100%の落札率で、株式会社大歳組が受注しています。消費税抜きの工事費は4,190万円です。

また、東城市街地まちなか拠点施設（通称えびす）の新築工事では、1社が辞退し、事実上1社だけの入札で、99.7%の落札率で、宮田建設株式会社が受注しています。消費税抜きの工事費は6,550万円です。

さらに、11月12日入札の、庄原市木質ペレット製造施設整備工事の建築工事では、1社が辞退し、事実上1社だけの入札で、99.7%の落札率で、長岡鉄工建設株式会社が受注しています。消費税抜きの工事費は6,300万円です。

このほかにも、大きな工事額の入札で、同じような高い落札率で受注されているものが、水道事業を除く市長部局のものだけでも9件もあります。

これは、2007年12月5日入札の、市庁舎新築工事で、1社だけの入札で、消費税抜きの工事費は18億円、99.2%の落札率で、株式会社玉川工務店と小林建設株式会社のJVが受注して以来の悪しき状況の延長線上にある、根の深い問題だと指摘せざるをえません。

市長は、一般競争入札だから、結果として、1社だけの入札でも、適正な入札だとされていますが、この事態は、そんな、きれいごとが通用するような問題では決してありません。

現に、11月12日入札の、庄原市木質ペレット製造施設整備工事の太陽光発電設備設置工事では、2社が辞退しましたが、4社が入札に参加し、消費税抜きの予定価格1,670万円に対し、85.5%の落札率で、株式会社中電工庄原営業所が受注しています。

事実上1社だけの入札になる場合は、入札をいったん延期し、条件付の条件を緩和して市外の業者も参加させることなどを前提条件にするなど、適正な競争をうながすことは、しごく当然のことだと言わなければなり

ません。そうすれば、結果として、入札額が下がり、残った財源で新たな緊急経済対策をおこなうこともできるではありませんか。

そうした措置をなんらとらず、今日の事態を招いた、今回の工事請負契約は断じて認めることはできません。

したがって、この議案は否決するものとし、入札参加条件を見直し、再入札されるようつよく求めるものです。議員各位のご賛同をお願いして、私の討論といたします。